

新しい時代へ がんばろう高梁

人・まち・自然を大切にする高梁の創造

住んでよかった 安心できるまち

新しく市長に就任しました近藤隆則です。
私たちのまち高梁市は、多彩で魅力ある歴史・
伝統・文化・教育、また、豊かな自然環境など
多くの資源に恵まれています。

私自身も本市に生まれ育ち、このまちをこよ
なく愛するものの一人であり、市民の力や産業
の力、さまざまな資源を掘り起こし、活気と郷
土愛に満ちたまちを創っていくことが市長とし
ての私の使命であり、力の限り頑張っていきま
す。

特に今、社会構造の変化や少子高齢化の進展
など地方を取り巻く状況は厳しさを増してお
り、待ったなしの財政再建をはじめ諸課題が山
積しています。

また、進む地方分権の中で地方の自立が求め
られており、地域の実情に即応した施策を展開
し、魅力あるまちに生まれ変わることが必要で
す。今こそ現状を打破し、新たな創造と変革に

よるまちづくりを推進しなければなりません。

こうしたことから、皆さまの声を受けとめ
ながら、市民が主役のまちづくりを進めていく
上で、市民の考えや願い、希望がしっかりと反映
され、市民の持てる能力が十全に発揮される地
域運営を行い、市民・議会・行政が一体となっ
て取り組む協働のまちづくりを進め、知恵と力
を合わせて、「住んでよかった安心できるまち」
だと自信を持って言えるまちにしたいと思いま
す。

一日も早く市民が総力を挙げて高梁の未来を
創り出す体制を整え、新しいまちづくりに果敢
に取り組んでまいりたいと思います。

市民の皆様とともに着実に市政の改革を進め
てまいりますので、これからもご支援ご協力をお
願ひいたします。

高梁市長 近藤隆則

近藤市長に市政運営の理念につ
いて聞きました

▼市の未来について

高梁市が持つ資源を生かし、
より発展的に創造的に成長して
いく必要があります。その中で、
何よりも大事にしたいことは、

高梁市を「住んでよかった安心
できるまち」として育てていく
ことです。「住んでよかった」は

「住みよいまち」でもあります。
未来を担う子どもたちが夢を
持てる地域、お年寄りが安心し
て豊かに暮らせる地域の実現を
目指していきます。また、自然

との共生を求め、伝統ある農林
業・地場産業や、高梁を生かし
た観光産業などを基盤としなが
ら、未来に開かれた新しい産業
を育成していきます。

そして、人の輪を広げていき
福祉・産業・芸術・文化などあ
らゆる人の営みと自然とが調和



□ したまちづくりを進めていきま
す。

▼新たな市政を運営して
いくにはー。また、そのた
めに必要なことは

市政の運営は財政基盤がしつ
かりとしたものでなければなり
ません。財政を健全化するため
には歳出カットは当然ですが、
そのことが行政の目的ではあり
ません。歳入を増やす努力と、
必要なところにはお金を投入し
ていく。そのような考え方で財
政再建を進めると同時に、さら
に市民福祉の向上、市勢発展を
目指します。そのためにはある
程度の痛みも伴うとは思いますが、
現在の行財政改革大綱を見
直し、一層の推進を図っていき、
予算にはメリハリを付けていき
ます。

また、まちづくりには全市民
のマンパワーが必要です。「市民
力の結集」は特に重要なことで
あり、また、まちの現状と将来
について議論を尽くすことも大
切なことです。

これからは、まさに市民の皆
さまに率直に問題を訴えかけ、

声を聞き、また市内のさまざま
な場所で活動できる、そして力
を発揮できる場所・場面を創っ
ていき、「高梁を自分たちで盛り
上げる」という機運を市内に起
こしていきます。

▼高梁を活性化するには

物質的にぜいたくなことが必
ずしも幸福ではないことは言う
までもありません。量より質の
面で、もつとよい市になるとい
う発想が重要です。「ハードパワ
ー」から「ソフトパワー」へと
いう新たな発想、アイデアが必
要です。私は行政サービスを提
供することによる市民の皆さま
の受益とそれに伴う負担の關係

を認識した上で、市政を推進し
ていくことが必要であると考え
ています。つまり「自助」「互
助」「公助」の精神であり、自助
とはそれぞれができることを自
分の努力で行うこと、互助とは
隣近所の住民同士で思いやりを
もち、互いに助け合って行うこ
と、公助とは、自助、互助でで
きないことを、行政が主体的に
取り組み行うことです。そのた
めには、市民の皆さまにこれま
で以上に市政に参画いただき、
課題を共有しながら、高梁の再
生と、市民の健康福祉・教育・
農業・商工業・観光・まちづく
りなど活性化に取り組んでいき
ます。

市長のプロフィール

名 前／近藤隆則(こんどう たかのり)
生年月日／昭和34年2月1日
年 齢／49歳
学 歴／
昭和56年3月 岡山大学工学部電気工
学科卒業

主な経歴／
昭和56年4月 高梁市採用
平成8年4月 高梁市総務部財政係長
平成20年4月 高梁市産業経済部商工観光課長
平成20年9月 高梁市退職
平成20年10月 高梁市長就任

座右の銘／「いまやらねばいつできる
わしがやらねばたれがやる」
(平櫛田中)

趣 味／鉄道旅行、バドミントン、
料理、ゴルフ